

URAのための問いのデザイン ～創造的対話のファシリテーション～

日時

2025年2月21日(金)
13:00～17:30(受付12:30～)

会場

京都大学 吉田キャンパス
学術研究支援棟 地下1階会議室
<https://www.kura.kyoto-u.ac.jp/access/>

○ 概要:

問いは、研究とイノベーションの出発点です。研究者の問いのそばでURA求められる力はどうなるのでしょうか。異分野の研究者や市民、産官学の関係者など、そこに集まった異なる視点を持つ人々の問いが、さらに深い問いに向かうプロセスに伴走することはURAの仕事の醍醐味のひとつです。本講座では、学際的・国際的なプロジェクト形成、産学官連携プロジェクト形成、大学経営における意思決定の支援、そして大学組織内のチームそのものの結束を高めるなど、あらゆる場面で創造的対話と協働を促すようなファシリテーションのスキル習得を目指します。URAとして場面ごとにどのようなファシリテーションが求められるのか、何をきっかけにそれを切り替える必要があるのか、問いのデザインとファシリテーションスキルを実践に活かしてみたいと考えるURAの皆さんの参加を期待します。



○ 講師:

塩瀬 隆之 京都大学総合博物館 准教授

京都大学工学部精密工学科卒業、同大学院工学研究科修了。機械学習による熟練技能継承支援システムの研究で工学博士。ATR 知能ロボティクス研究所、慶応義塾大学SFC 研究所客員研究員など併任。京都大学大学院情報学研究科助教、京都大学総合博物館准教授を経て2012年6月退職。同7月より経済産業省産業技術政策課 課長補佐(技術戦略)。2014 年7月京都大学総合博物館准教授に復職。2025大阪・関西万博日本館基本構想有識者委員会 座長。平成29 年度文部科学大臣表彰・科学技術賞(理解増進部門)、日本の人事部「HRアワード2021」書籍部門最優秀賞ほか受賞多数。著書に『問いのデザイン 創造的対話のファシリテーション』(学芸出版社、2020)、『未来を変える 偉人の言葉』(新星出版社、2021)等。

○ 申し込み:

- 対象: URA、研究支援者、ファシリテーションに興味のある方
- 定員: 40名(先着)
- 参加費: RA協議会会員 5,000円、非会員 15,000円
- 期間: 2025年1月14日(火)～2月13日(木)
- URL: <https://rman.smartcore.jp/>(RA協議会イベントサイト)

2025年
2月13日(木)
申し込み〆切

○ 終了後、別会場にて情報交換会を予定しております(別途申込、別料金)

タイムスケジュール

12:30-13:00	受付
13:00-13:10	オープニング
13:10-14:10	講演 メイン講師：塩瀬隆之
14:10-14:15	休憩
14:15-17:15	ワークショップ メイン講師：塩瀬隆之 サポート講師：白井哲哉、長谷川景子(京都大学/URA)
17:15-17:30	クロージング

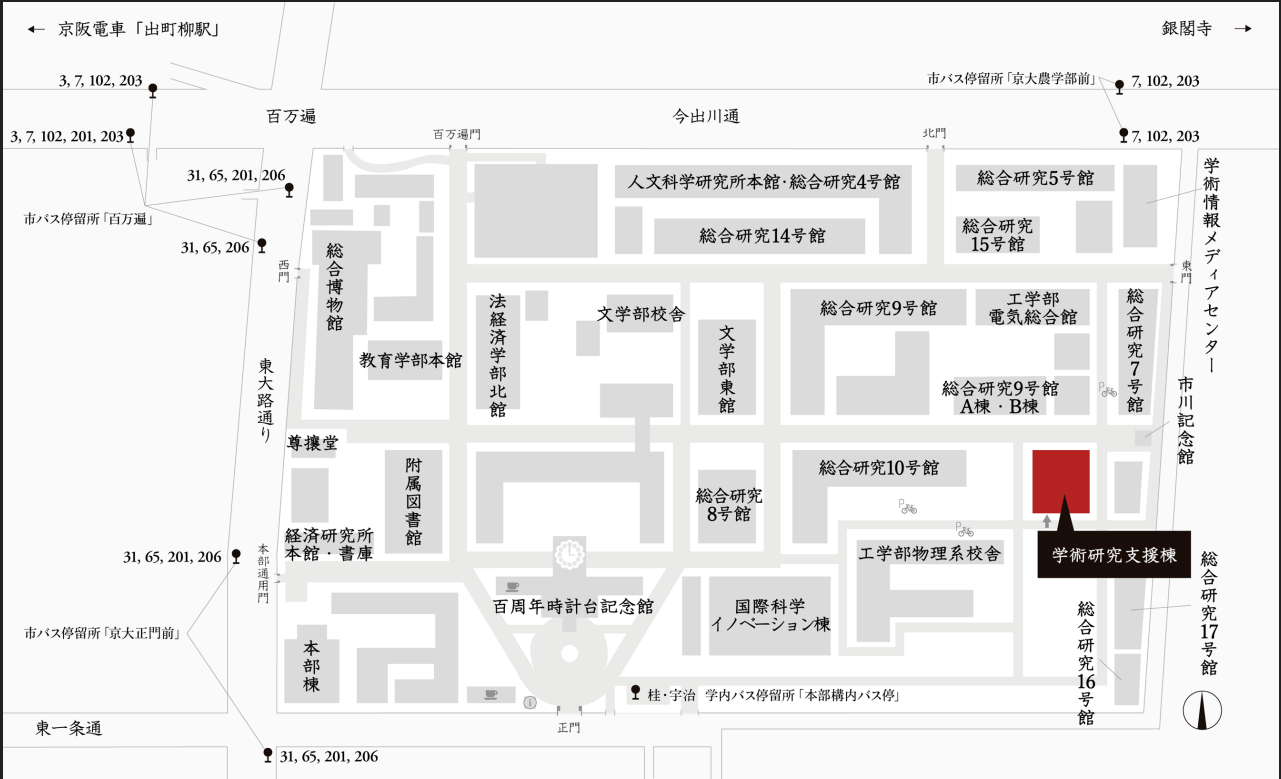
※申込期間（2025年1月14日～2月13日、先着順・定員に達し次第終了）

▶ 京都駅(JR)からのアクセス

- ・ 京都市バス
206系統 「京大正門前」 または 「百万遍」 下車
7系統 「京大農学部前」 下車
- ・ 循環路線バス「hoop（フープ）」
八条口より京大方面へ直通運行 「京都大学前」 下車

▶ 京都河原町駅(阪急)からのアクセス

- ・ 京都市バス
201系統 「京大正門前」 または 「百万遍」 下車
31系統 「京大正門前」 または 「百万遍」 下車
7系統 「京大農学部前」 下車
3系統 「百万遍」 下車



〒606-8501 京都市左京区吉田本町 学術研究支援棟 (Google map)

問い合わせ: RA協議会スキルプログラム専門委員会 skillpro-comittee@rman.jp